

Annals of Uonuma Kikan Byoin

vol.7 2022.4-2023.3



新潟大学地域医療教育センター
魚沼基幹病院

< 記載上の留意点 >

・複数診療科・部門にて行われた研究・業績については、『「論文責任著者・筆頭著書・筆頭演者」の属する診療科・部門』に、代表して掲載されています。

・当院職員、また、当院職員のうち筆頭演者・著者に、以下のとおり下線を引いています。(UKB リサーチ 2022 頁・院内研修会頁を除く)

当院職員のうち論文責任著者・筆頭著者・筆頭演者 (2重下線) (単名の場合含)

当院職員 (1重下線) (単名の場合含)

当院職員以外 (下線なし)

・UKB リサーチ 2022 頁は筆頭演者に下線を引いています。

目次

巻頭言	魚沼基幹病院 病院長 鈴木 榮一
診療部	
・ 総合診療科	1
・ 循環器内科	2
・ 内分泌・代謝内科	4
・ 血液内科	5
・ 腎臓内科（リウマチ科・膠原病科）	10
・ 呼吸器・感染症内科	11
・ 消化器内科	12
・ 神経内科	15
・ 精神科	16
・ 小児科	17
・ 消化器外科・一般外科（乳腺外科）	19
・ 呼吸器外科	21
・ 整形外科	22
・ 脳神経外科	26
・ 皮膚科	28
・ 泌尿器科	29
・ 耳鼻咽喉科	30
・ 産婦人科	31
・ 放射線治療科	33
・ 麻酔科	34
・ リハビリテーション科	35
・ 歯科口腔外科	36
・ 病理診断科	37
感染管理部	38
患者サポートセンター	40
薬剤部	41
医療技術部	
・ 放射線技術科	42
・ 臨床検査科	43
・ リハビリテーション技術科	44
・ 臨床工学科	48
看護部	49
UKB リサーチ 2022	51
院内研修会	53

巻 頭 言

今年もまた、魚沼基幹病院の業績集 *Annals of Uonuma Kikan Byoin* を発行する時期になりました。今回の vol.7 は、令和 4 年度に当院の各診療科、各部署が発表した業績を、報告をもとに取りまとめたものです。

本年 5 月で、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、5 類感染症に位置付けられることになりましたが、当院では昨年度までの 3 年間で、令和 2 年度 70 名、令和 3 年度 226 名、令和 4 年度 293 名の、計 589 名の COVID-19 陽性患者さんの入院を受け入れており、職員の負担は非常に大きかったと思います。そんな中で、この度、*Annals of Uonuma Kikan Byoin vol.7 2022.4-2023.3* を刊行できたことに、あらためて各診療科、各部門の皆さんのご努力に、敬意を表したいと思えます。

当院は、魚沼地域に高度医療・救急医療・専門医療を提供する病院であるとともに、開院以来、医師をはじめさまざまな職種の医療人を育成することを、その大きな目標として掲げており、新潟大学歯学総合病院魚沼地域医療教育センターを併設しています。基幹型臨床研修医も少しずつ増えてきており、令和 4 年度から新潟大学の感染管理認定看護師教育課程（B 課程）の臨地実習施設として、さらに令和 5 年度からは当院が看護師の特定行為研修の研修施設として、看護師の受け入れを行っています。

開院時から当院の組織には、教育研修推進部が設置されており、令和 5 年度からはその特色をさらに発揮するために、事務部門に教育研修推進係を独立させ、医学生だけでなく、さまざまな職種の学生実習受け入れや、臨床研修・専門研修の受け入れ、さらに当院職員のキャリアアップのための研修にも、より一層力を入れていくことにしました。また、UKB リサーチをはじめ、臨床現場での経験をもとに臨床研究として、診療部各診療科の医師、歯科医師のみならず、多部門各職種の各種学会・研究会等での発表や、論文投稿なども、これまで以上に応援していきたいと思っています。

当院が、教育・研修、さらに臨床研究のメッカとなり、いろいろな情報を発信していけるようになることを期待しています。

令和 5 年 8 月

一般財団法人新潟県地域医療推進機構
魚沼基幹病院 病院長 鈴木 榮一

論文(原著)

Zakharova A, Kabasawa K, Ito Y, Tanaka J, Hinata A, Kitamura K, Watanabe Y, Tsugane S, Nakamura K, Narita I.
Association between Sarcopenia and Depressive Symptoms in Community-Dwelling People Aged 40 Years and Older.
Tohoku J Exp Med 257(2): 117-125, 2022.

Matsuno T, Takachi R, Ishihara J, Ishii Y, Kito K, Maruya S, Nakamura K, Tanaka J, Yamagishi K, Yamaji T, Iso H, Iwasaki M, Tsugane S, Sawada N.
Validity of the Food Frequency Questionnaire-estimated intakes of sodium, potassium, and sodium-to-potassium ratio for screening at a point of absolute intake compared with 12-day weighed food records or multiple 24-hour urinary excretion among middle-aged and older Japanese adults.
Nutrients 14(13): 2594, 2022.

Kabasawa K, Takachi R, Nakamura K, Sawada N, Tsugane S, Ito Y, Tanaka J, Narita I, Matsushita K.
Associations of urinary and dietary sodium-to-potassium ratios with albuminuria in community-dwelling Japanese adults: a cross-sectional study.
Kidney Blood Press Res 47(9): 576-585, 2022.

著書など

田中純太.

救急初期対応総論：災害時のトリアージ
内科救急診療指針 2022, 21-22 頁, 総合医学社, 2022.

学会・研究会・講演会

Kabasawa K, Ito Y, Nakamura K, Tanaka J, Narita I.
Predictors of CKD awareness in middle-aged and older community-dwelling Japanese adults.
American Society of Nephrology Kidney Week 2022 (ポスター) (Washington DC, 2022 年 11 月 1 日-6 日)

田中純太.

トレイルランニングレース中に発症した重症熱中症の 1 例.
第 33 回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (ポスター) (札幌, 2022 年 11 月 12 日-13 日)

循環器内科

学会・研究会・講演会

田中和世.

シェーグレン症候群に併発した肺高血圧の1例.

第150回日本内科学会信越地方会 上越 (講演)

(アートホテル上越, 2022年6月4日)

若杉嵩幸.

ここがポイント! かかりつけ医の為の抗凝固療法.

塩沢医会 (講演)

(南魚沼市, 2022年6月30日)

木村新平

冠動脈疾患における抗血小板療法 -慢性期フォローの注意点-

塩沢医会 (講演)

(南魚沼市, 2022年6月30日)

木村新平.

高齢者循環器疾患のトータルマネジメント ~心房細動・心不全を中心に~

十日町市中魚沼郡医師会学術講演会 (講演)

(十日町市, 2022年9月1日)

田中和世、若杉嵩幸、木村新平.

高齢者のたこつぼ症候群・たこつぼ心筋症.

研修医 STEP UP SEMINAR 長岡 (講演)

(長岡市, 2022年9月9日)

若杉嵩幸.

ここがポイント! かかりつけ医の為の抗凝固療法.

魚沼地区学術講演会 UOSHIN (講演)

(南魚沼市, 2022年9月29日)

木村新平.

冠動脈疾患における抗血小板療法 -慢性期フォローの注意点-

魚沼地区学術講演会 UOSHIN (講演)

(南魚沼市, 2022年9月29日)

木村新平.

エンレストの使い方: ARBからの切換、CCBへの上乗せ.

新しい高血圧治療戦略を考える会 (講演・Web)

(長岡市, 2022年10月24日)

若杉嵩幸.

魚沼医療圏における心不全患者の現状.

魚沼地区心不全治療学術講演会 (講演・Web)

(南魚沼市, 2022年11月10日)

木村新平.

心房細動治療の2本柱、抗凝固療法とアブレーション治療.

心房細動治療の最前線 学術講演会 (講演・Web)

(長岡市, 2022年12月8日)

田中和世.

左下肢浮腫と呼吸困難で発症した右総腸骨動脈瘤による動静脈瘻の一例.

日本循環器学会関東甲信越地方会 東京 (講演)

(東京, 2022年12月10日)

若杉嵩幸.

ここがポイント! かかりつけ医の為の抗凝固療法.

吾妻地区 web セミナー 十日町 (講演・Web)

(十日町市, 2023年3月6日)

木村新平.

魚沼基幹病院循環器内科の現況.

吾妻地区 web セミナー 十日町 (講演・Web)

(十日町市, 2023年3月6日)

木村新平、尾崎和幸.

心血管カテーテル治療の最近の話題 ~冠動脈疾患二次予防.

魚沼地区医療連携の会 (講演)

(南魚沼市, 2023年3月14日)

木村新平.

魚沼基幹病院循環器内科の現況.

中越心臓の会 柏崎井田先生、立川岡部先生、阿古先生 (講演・Web)

(南魚沼市, 2023年3月28日)

論文(症例報告)

Ohara N, Takada T, Seki Y, Akiyama K, Yoneoka Y.

A 75-year-old woman with a 5-year history of controlled type 2 diabetes mellitus presenting with polydipsia and polyuria and a diagnosis of central diabetes insipidus.

American Journal of Case Reports 23: e938482, 2022.

Sakurai Y, Ohara N, Fukai Y, Seki Y, Akiyama K, Yoneoka Y, Takada T, Tani T, Terajima K, Ozawa T, Sone H.

Hypoglycemic hemiplegia associated with reversible narrowing of the contralateral middle cerebral artery in a patient with adrenal insufficiency.

Intern Med 62(5): 751-756, 2023.

学会・研究会・講演会

深井悠未、小原伸雅.

高 TG 血症と急性膵炎を合併する糖尿病性ケトアシドーシスで発症した 2 型糖尿病の 1 例.

第 150 回日本内科学会信越地方会 (口頭)

(上越, 2022 年 6 月 4 日)

安倍正夫、小原伸雅、西山勉、原昇、中村涼太.

高血圧症・糖尿病の長期療養中、偶然に左副腎腫瘍を指摘され、腫瘍切除後に高血圧・高血糖の改善をみた副腎性褐色細胞腫の一例.

第 23 回日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会 (口頭)

(横浜, 2022 年 9 月 10 日)

論文(原著)

Kubo M, Sakai K, Hayakawa M, Kashiwagi H, Yagi H, Seki Y, Hasegawa A, Tanaka H, Amano I, Tomiyama Y, Matsumoto M.

Increased cleavage of von Willebrand factor by ADAMTS13 may contribute strongly to acquired von Willebrand syndrome development in patients with essential thrombocythemia.

J Thromb Haemost 20: 1589-1598, 2022.

関 義信

がん関連静脈血栓症に関するエビデンス収集の試み.

日本検査血液学会雑誌 23(2): 311-321, 2022.

Mori H, Kataoka Y, Harada-Shirado K, Kawano N, Hayakawa M, Seki Y, Uchiyama T, Yamakawa K, Ishikura H, Irie Y, Nishio K, Yada N, Okamoto K, Yamada S, Ikezoe T.

Prognostic value of plasma high mobility group box 1 protein and histone H3 levels in patients with disseminated intravascular coagulation: a multicenter prospective cohort study.

Throm J 20: 20-33, 2022.

関 義信、佐藤賢治、阿部健博、古俣 妙、布施一郎.

血液搬送装置 ATR を活用した広域ブラッドローテーションによる新潟県での血液製剤の有効利用を図るための研究.

日本輸血細胞治療学会誌 68(4): 496-501, 2022.

関 義信、藤森佑多、射場敏明.

2022 Hot Topics 線溶分野

血栓止血誌 34(1): 75-77, 2023.

Wada H, Kawasugi K, Honda G, Kawano N, Uchiyama T, Madoiwa S, Takezako N, Suzuki K, Seki Y, Ikezoe T, Iba T, Okamoto K.

Sepsis-Associated DIC with Decreased Levels of Antithrombin and Fibrinogen is the Target for Combination Therapy with Thrombomodulin Alfa and Antithrombin.

TH Open 22(1): e65-e75, 2023.

Shima M, Amano K, Ogawa Y, Yoneyama K, Ozaki R, Kobayashi R, Sakaida E, Saito M, Okamura T, Ito T, Hattori N, Higasa S, Suzuki N, Seki Y, Nogami K.

A prospective, multicenter, open-label phase III study of emicizumab prophylaxis in patients with acquired hemophilia A.

J Thromb Haemost 21: 534-545, 2023.

論文(総説)

関 義信.

DIC 診療の最先端 臨床血液学 2022 -血液疾患診療の注目すべき進歩と将来像(血小板・凝固・線溶疾患)-
臨床血液 63(5): 442-453, 2022.

関 義信.

Editorial-特集: がんと線溶
血栓止血誌 33(3): 313, 2022.

著書など

関 義信.

先天性・後天性血管障害による出血.
血液疾患のすべて(日本医師会雑誌), S303-S305 頁, 日本医師会, 2022.

関 義信.

エキスパートに聞く DIC の診断・病態・治療.
Land Mark in Thrombosis & Haemostasis, 18-35 頁, メディカルレビュー社, 2022.

関 義信.

固形がんに合併した DIC に対する治療戦略.
Land Mark in Thrombosis & Haemostasis, 83-86 頁, メディカルレビュー社, 2022.

関 義信.

血友病に対する抗体医薬とその臨床的意義.
血液内科, 77-83 頁, 科学評論社, 2022.

関 義信.

FDP/D ダイマー.
徹底ガイド DIC のすべて 2022-'23, 608-615 頁, 総合医学社, 2022.

関 義信.

施設紹介/当院での血友病診療, ヘモフィリアステーション(Web), 2022.

関 義信、小川るり子、矢吹 剛.

外来化学療法現地ルポ
新潟大学医歯学総合病院魚沼地域医療教育センター 新潟県地域医療推進機構 魚沼基幹病院 [外来化学療法 現場ルポ],
協和キリンメディカルサイト(Web), 2022.

関 義信、窓岩清治.

FRQ7-1 がん薬物療法に伴う静脈血栓症 (venous thromboembolism: VTE) の診療にバイオマーカーは推奨されるか?
Onco-cardiology ガイドライン. 日本臨床腫瘍学会・日本腫瘍循環器学会編集, 53-56 頁, 南江堂, 2023.

関 義信.

IgA 血管炎による出血傾向.

救急医学, 227-234 頁, へるす出版, 2022 (補遺)

学会・研究会・講演会

Yoshinobu Seki, Takashi Ushiki, Masayoshi Masuko, Jun Takizawa, Hirohito Sone, Nobuo Okumura.

Easy clot characteristics of the placenta in a case of congenital hypofibrinogenemia.

International Society on Thrombosis and Hemostasis (ISTH) 2022 (Poster) (London, 2022 年 7 月 9 日-13 日)

関 義信、佐藤賢治、阿部健博、古俣 妙、布施一郎.

血液搬送装置 ATR を活用した離島での広域ブラッドローテーションによる新潟県での血液製剤の有効利用を図るための研究.

第 68 回日本輸血・細胞治療学会学術総会 (口演) (名古屋市, 2022 年 5 月 27 日-29 日)

関 義信、牛木隆志、増子正義、瀧澤 淳、曾根博仁、奥村伸生.

先天性低フィブリノゲン血症症例の易血栓性胎盤.

第 44 回日本血栓止血学会学術集会 (口演) (仙台市, 2022 年 6 月 23 日-25 日)

関 義信、本田剛一、河野徳明、内山俊正、川杉和夫、窓岩清治、竹迫直樹、池添隆之、和田英夫.

French-American-British 分類による急性白血球病 DIC の臨床的特徴とトロンボモジュリン製剤の治療.

第 44 回日本血栓止血学会学術集会 (口演) (仙台市, 2022 年 6 月 23 日-25 日)

関 義信

今さら聞けない後天性血友病 A (AHA) の検査・診断・トピックス.

後天性血友病 A 全国 Web 講演会 (講演・Web) (2022 年 9 月 22 日)

関 義信.

造血器悪性腫瘍における DIC 治療.

第 84 回日本血液学会学術集会 (講演) (福岡市, 2022 年 10 月 14 日-16 日)

Hiroki Nemoto, Ryo Ito, Yoshinobu Seki.

Immune thrombocytopenia of a hematological immune-related adverse event induced by durvalumab.

第 84 回日本血液学会学術集会 (ポスター) (福岡市, 2022 年 10 月 14 日-16 日)

関 義信

後天性血友病 A 治療の新展開.

北陸凝固異常研究会 (講演・Web)

(2022 年 10 月 28 日)

関 義信

変化しゆく血友病治療の多様化と rFVIII-single chain への期待.

CSL AFSTYLA 全国 Seminar (講演・Web)

(2022 年 11 月 8 日)

関 義信、鈴木さくら、坂西 清、馬場 満、竹田美穂、市川佳和、勝又尚美、東都明穂、井口 亘、小林ひとみ.

外国人留学生の母国帰国後の薬物治療選択肢に関する問題点.

第 36 回日本エイズ学会学術集会 (口演)

(浜松市, 2022 年 11 月 18 日-20 日)

関 義信.

ご存知ですか? DIC 七変化.

第 95 回新潟県臨床検査学会 (教育講演)

(新潟市, 2022 年 12 月 18 日)

関 義信.

DIC の病態と診断.

令和 4 年度 日本臨床衛生検査技師会 北日本支部 臨床血液部門研修会 (教育講演・Web)

(2023 年 1 月)

関 義信

造血器腫瘍における DIC の出血症状を考える.

リコモジュリン Web 全国講演会 (講演・Web)

(2023 年 1 月 17 日)

関 義信

後天性血友病 A の診断と治療.

血液凝固異常症オンラインセミナー (講演・Web)

(2023 年 1 月 18 日)

関 義信

DIC の病態・診断・治療の概説-その多様性と出血で死亡する DIC のご紹介.-

第 10 回北九州 DIC セミナー (講演)

(北九州市, 2023 年 2 月 2 日)

関 義信.

教育講演: DIC/TMA

第 17 回日本血栓止血学会学術標準化委員会 SSC シンポジウム (教育講演・Online)

(東京, 2023 年 2 月 18 日)

関 義信、窓岩清治、内山俊正.

「DIC 診療ガイドライン(仮)の構想と進捗状況」固形がん.

第 17 回日本血栓止血学会学術標準化委員会 SSC シンポジウム (講演・Online)

(東京, 2023 年 2 月 18 日)

関 義信

後天性血友病に関する新たな治療戦略.

中外 e セミナー on Hematology (講演・Web)

(2023 年 3 月 22 日)

研究費(その他)

関 義信 : 令和 4 年度 血液製剤使用適正化方策調査研究事業 (厚生労働省) 2022 年度

『山間へき地や豪雪地域における血液製剤の供給体制実態調査～廃棄血削減の取り組み～』

論文(原著)

Akinori Hara, Takashi Wada, Eri Muso, Shoichi Maruyama, Sawako Kato, Kengo Furuichi, Kenichi Yoshimura, Tadashi Toyama, Norihiko Sakai, Hiroyuki Suzuki, Tatsuo Tsukamoto, Mariko Miyazaki, Eiichi Sato, Masanori Abe, Yugo Shibagaki, Ichiei Narita, Shin Goto, Yuichi Sakamaki, Hitoshi Yokoyama, Noriko Mori, Satoshi Tanaka, Yukio Yuzawa, Midori Hasegawa, Takeshi Matsubara, Jun Wada, Katsuyuki Tanabe, Kosuke Masutani, Yasuhiro Abe, Kazuhiko Tsuruya, Shouichi Fujimoto, Shuji Iwatsubo, Akihiro Tsuda, Hitoshi Suzuki, Kenji Kasuno, Yoshio Terada, Takeshi Nakata, Noriaki Iino, Tadashi Sofue, Hitomi Miyata, Toshiaki Nakano, Takayasu Ohtake, Shuzo Kobayashi; LICENSE study group

Effect of Low-Density Lipoprotein Apheresis on Quality of Life in Patients with Diabetes, Proteinuria, and Hypercholesterolemia.

Blood Purif 52(4): 373-381, 2023.

学会・研究会・講演会

甲田亮、吉澤優太、永野敦嗣、飯野則昭、土田雅史、渡辺博文、成田一衛、宮崎慧、吉嶺文俊。

常勤腎専門医不在・透析設備がない地域中核県立病院における週1助勤の腎専門外来6年間の診療実態。

第66回日本腎臓学会学術集会(ポスター)

(横浜, 2022年6月10日-12日)

甲田亮、吉澤優太、永野敦嗣、飯野則昭、成田一衛。

魚沼地域医療再編後の腹膜透析診療6年半のまとめ。

第67回日本透析医学会学術集会(ポスター)

(横浜, 2022年7月1日-3日)

椎谷貴光、永野敦嗣、甲田亮、飯野則昭、成田一衛。

胸部大動脈解離後の慢性機械的溶血により腎ヘモジデローシスを発症した1例。

第52回日本腎臓学会東部学術集会(ポスター)

(東京, 2022年10月22日-23日)

論文(原著)

Ohashi K, Ito R, Koda R, Iino N, Takada T.

Serum cytokine changes induced by direct hemoperfusion with polymyxin B-immobilized fiber in patients with acute respiratory failure.

Respir Investig 60(4): 585-594, 2022.

Miku Oda, Kentaro Yamaura, Haruyuki Ishii, Nobutaka Kitamura, Ryushi Tazawa, Mitsuhiro Abe, Koichiro

Tatsumi, Ryosuke Eda, Shotaro Kondoh, Konosuke Morimoto, Takeshi Tanaka, Etsuro Yamaguchi, Ayumu

Takahashi, Shinyu Izumi, Haruhito Sugiyama, Atsushi Nakagawa, Keisuke Tomii, Masaru Suzuki, Satoshi Konno,

Shinya Ohkouchi, Naoki Tode, Tomohiro Handa, Toyohiro Hirai, Yoshikazu Inoue, Toru Arai, Katsuaki Asakawa,

Takahiro Tanaka, Toshinori Takada, Hirofumi Nonaka, Koh Nakata.

Quantitative evaluation of changes in three-dimensional CT density distributions in pulmonary alveolar proteinosis after GM-CSF inhalation.

Respiration 102(2): 101-109, 2023.

学会・研究会・講演会

高田俊範、井上義一、肺胞蛋白症診療ガイドライン作成委員会。

肺胞蛋白症研究の進歩と「日本呼吸器学会肺胞蛋白症診療ガイドライン」作成への歩み

第 62 回日本呼吸器学会学術講演会 (シンポジウム)

(国立京都国際会館, 2022 年 4 月 22 日)

大橋和政、伊藤竜、高田俊範、長谷川剛。

頸動脈小体の ACE2 受容体発現を検索した COVID19 剖検症例。

第 88 回呼吸器合同北陸地方会 (一般演題・Web)

(2022 年 5 月 29 日)

出塚真史、大橋和政、伊藤竜、高田俊範、安部正夫、小原伸雅。

肺結核を合併した原発性副甲状腺機能亢進症の 1 例。

第 151 回日本内科学会信越地方会 (一般演題・Web)

(2022 年 10 月 2 日)

研究費(科学研究費)

高田俊範：分担 基盤研究費 (C) 20K08537 2020～2022 年度

血球吸着モデルを用いた LAM 患者におけるシロリムス最適薬用量決定法の提案

高田俊範：分担 基盤研究費 (C) 20K08536 2020～2022 年度

肺 MAC 症におけるバイオマーカー CXCL10 の有用性について

論文(原著)

Suda T, Sugimoto A, Kanefuji T, Abe A, Yokoo T, Hoshi T, Abe S, Morita S, Yagi K, Takahashi M, Terai S.

Gravity assistance enables liver stiffness measurements to detect liver fibrosis under congestive circumstances.
World J Hepatol 14(4): 778-790, 2022.

Ikeda M, Arai Y, Inaba Y, Tanaka T, Sugawara S, Kodama Y, Aramaki T, Anai H, Morita S, Tsukahara Y, Seki H, Sato M, Kamimura K, Azama K, Tsurusaki M, Sugihara E, Miyazaki M, Kobayashi T, Sone M.

Conventional or Drug-Eluting Beads? Randomized Controlled Study of Chemoembolization for Hepatocellular Carcinoma: JIVROSG-1302
Liver Cancer 11(5): 440-450, 2022.

論文(総説)

八木一芳、星隆洋、阿部聡司、森田慎一、須田剛土、寺井崇二.

除菌後発見胃癌について.

消化器内科 4(4): 46-54, 2022.

八木一芳、寺井崇二.

RAC (regular arrangement of collecting venules)

胃と腸 57(5): 533, 2022.

八木一芳、寺井崇二.

胃の組織解剖と内視鏡像.

消化器内視鏡 増刊号 34(1): 14-26, 2022.

論文(症例報告)

Liu X, Wu X, Zhu J, Yagi K, Ajioka Y, Terai S, Mizuno K, Li H, Tuo B, Di L.

Case report: New subtype of gastric adenocarcinoma arising from an H. pylori infection – negative stomach: Foveolar epithelium and mucous neck cell-mixed type adenocarcinoma.

Front Oncol 12: DOI 10.3389/fonc.2022.970231, 2022.

学会・研究会・講演会

Yagi K.

Endoscopic diagnosis of gastritis due to H. pylori -Kyoto classification and beyond-
3rd World Congress of GI Endoscopy, H. pylori New Developments, Remaining Challenges and Continuing
Controversies 40 year later (講演) (京都, 2022年5月12日)

Morita S, Yagi K, Hoshi T, Abe S, Suda T, Terai S.

Safety of PEG placement with noninvasive positive pressure ventilation in patients with bulbar or pseudobulbar
palsy.
ENDO 2022, 3rd World Congress of GI Endoscopy (ポスター) (京都, 2022年5月13日-15日)

Yagi K.

Gastric adenoma in Japan definition.
Yunlin Xingyuan endoscopic conference (講演・Web) (Yunlin China, 2022年7月30日)

Yagi K.

Endoscopic diagnosis of gastric cancer after successful eradication.
Diagnosis and treatment of early Gastrointestinal cancer Zunyi Congress (講演・Web)
(Zunyi China, 2022年10月30日)

Yagi K.

Endoscopic diagnosis of gastric cancer after eradication therapy.
The 1st International Congress of Digestive Disease and Endoscopy in Southwest China (講演・Web)
(Chongqing China, 2022年11月27日)

Yagi K.

Endoscopic diagnosis of gastric cancer after eradication therapy.
河南省消化器医学学会内視鏡分会、河南省急診内視鏡診治学術年会 (講演・Web)
(Henan China, 2022年12月17日)

Yagi K.

The diagnosis and characteristics of mixed type of gastric adenocarcinoma.
Advanced training for diagnosis and treatment of GI cancer in Zunyi medical collage (講演・Web)
(Zunyi China, 2023年1月12日)

八木一芳.

除菌後胃粘膜と除菌後発見胃癌の内視鏡診断.
第103回日本消化器内視鏡学会総会 教育講演9 (講演) (京都, 2022年5月15日)

八木一芳.

White zone の読みについて および 機能的ディスペプシアについて.

札幌拡大内視鏡研究会 (講演)

(札幌, 2022 年 11 月 5 日)

八木一芳.

慢性胃炎の通常内視鏡および拡大内視鏡診断.

第 95 回日本胃癌学会総会 教育講演 1 (講演)

(札幌, 2023 年 2 月 24 日)

須田剛土.

肝臓: 代謝の中心臓器.

地域医療魚沼学校の楽語い講座、肝炎講演会・相談会 (口頭)

(魚沼市, 2023 年 3 月 1 日)

阿部聡司、小関洋平、星隆洋、八木一芳、川口弦、須田剛土.

当院における肝臓に対する放射線療法の現状.

中越地区肝臓講演会 (口頭)

(長岡, 2023 年 3 月 2 日)

研究費(科学研究費)

八木一芳: 代表 基礎研究 (C) 19K08389 2019~2022 年度

胃癌発生腺管の 3D 組織構築と遺伝子解析からの検討

八木一芳: 分担 基礎研究 (C) 19K08462 2019~2022 年度

小腸絨毛基底膜における「窓」の脂肪吸収に対する調節機能の解明

論文(原著)

Keiko Tanaka, Takashi Tani, Katsuhiko Ogawa, Masako Kinoshita, Masami Tanaka.

Trial of cytotoxic T cell induction in mice as an ex vivo model of paraneoplastic neurologic syndrome with anti-Hu antibodies

Clinical & Experimental Neuroimmunology 13(4): 316-322, 2022.

学会・研究会・講演会

根井仁平、坪谷隆介、菊地佑、谷卓、寺島健史、小澤鉄太郎。

COVID-19 ワクチン接種後に認知症を発症した一例。

第 25 回新潟 GHP 研究会（口演）

（新潟，2023 年 2 月 4 日）

菊地佑。

精神疾患の理解と支援者の関わり方。

魚沼基幹病院精神科地域連絡会（口演）

（新潟，2023 年 2 月 9 日）

論文(原著)

Watanabe K, Suzuki H, Jiang M, Tsukano S, Kataoka S, Ito S, Sakai T, Hirokawa T, Haniu H, Numano F, Hoshina S, Hasegawa S, Matsunaga M, Chiba K, Saito N, Yoshida H, Takami S, Okubo S, Hirano H, Saitoh A, Bujo H.
Soluble LR11as a Novel Biomarker in Acute Kawasaki Disease.
Circ J 86(6): 977-983, 2022.

Ozawa J, Ohno S, Melgari D, Wang Q, Fukuyama M, Toyoda F, Makiyama T, Yoshinaga M, Suzuki H, Saitoh A, Ai T, Horie M.
Increased CaV1.2 late current by a CACNA1C p.R412M variant causes an atypical Timothy syndrome without syndactyly.
Sci Rep 12(1): 18984, 2022.

Hitoshi Mori, Naokata Sumitomo, Kenta Tsutsui, Hideo Fukunaga, Hidemori Hayashi, Hiroshi Nakajima, Shota Muraji, Taisuke Nabeshima, Daisuke Kawano, Yoshifumi Ikeda, So Asano, Junichi Nitta, Shigeo Watanabe, Tatsunori Hokusaki, Seiichi Sato, Toshiyuki Chisaka, Takashi Higaki, Tadashi Nakajima, Shuntaro Tamura, Yoshiaki Kaneko, Kentaro Ikeda, Ayako Okada, Hideki Kobayashi, Hirohiko Motoki, Hitoshi Minamiguchi, Tomohiko Imamura, Satoshi Shizuta, Mitsuharu Kawamura, Yumi Munetsugu, Tsugutoshi Suzuki, Takashi Murakami, Hitoshi Horigome, Tsutomu Wada, Motoki Takamuro 21, Junichi Ozawa, Hiroshi Suzuki, Daisuke Izumi, Sou Otsuki, Masaomi Chinushi, Ken Kato, Masaru Miura, Jun Maeda, Masato Fukunaga, Hidekazu Kondo, Naohiko Takahashi, Takeshi Tobiume, Itsuro Morishima, Kenji Kuraishi, Kentaro Nakamura, Hiroshi Hayashi, Hirohiko Suzuki, Yukihiko Yoshida, Seiji Fukamizu, Rintaro Hojo, Norihito Nuruki, Masao Yoshinaga, Kentaro Hayashi, Hidehira Fukaya, Jun Kishihara, Toshiki Kobayashi, Ritsushi Kato.
Efficacy of Subcutaneous implantable cardioverter-defibrillators in ≤18 year-old CHILDREN: SAVE-CHILDREN registry.
Int J Cardiol 371: 204-210, 2023.

学会・研究会・講演会

原田瑞生.

COFS 症候群と診断した先天性多関節拘縮・肺低形成の 1 例.

第 58 回日本周産期新生児医学会学術集会 (口演)

(横浜, 2022 年 7 月 11 日)

鈴木博.

肥満進行により心肥大所見が過小評価される可能性がある -学校心臓検診での縦断的評価の意義-

第 58 回日本小児循環器学会学術集会 (ポスター)

(札幌, 2022 年 7 月 21 日)

鈴木博、小澤淳一.

体格が左室肥大所見に与える影響の検討 -学校心臓検診での縦断的評価-

第 26 回日本小児心電学会学術集会 (シンポジウム)

(大阪, 2022 年 11 月 12 日)

Hiroshi Suzuki, Junichi Ozawa.

Gender Differences in the Impact of Anthropometric Factors on Left Ventricular Hypertrophy Findings in Children and Adolescents.

第 87 回日本循環器学会学術集会 (ポスター)

(福岡, 2023 年 3 月 12 日)

田嶋直哉、海津勇希、桜沢有、原田瑞生、小嶋絹子、鈴木博.

2 歳男児の銀杏中毒の一例.

第 213 回中越小児臨床検討会 (口演)

(新潟, 2023 年 3 月 13 日)

田嶋直哉.

アレルギーの社会的対応 (新潟県)

2022 年度 (第 17 期) アレルギー大学・特別講座 (認定特定非営利活動法人 アレルギー支援ネットワーク)

(講義・配信)

(2022 年度)

研究費(科学研究費)

鈴木博: 代表 基盤研究費 (C) 22K07840 2022~2025 年度

経年変化と T 波形評価に注目した成長期 QT 延長症候群の新たな診断基準の確立

論文(原著)

Yo Sato, Eiji Sunami, Kenichiro Hirano, Motoko Takahashi, Shin-ichi Kosugi.

Efficacy of Prophylactic Negative-Pressure Wound Therapy with Delayed Primary Closure for Contaminated Abdominal Wounds.

Surg Res Pract doi: 10.1155/2022/6767570, 2022.

Motegi D, Ichikawa H, Bamba T, Muneoka Y, Kano Y, Usui K, Hanyu T, Ishikawa T, Hirose Y, Miura K, Tajima Y, Shimada Y, Sakata J, Nakagawa S, Kosugi SI, Wakai T.

Ulcer Scarring in the Gastric Conduit Is a Risk Factor for Anastomotic Leakage After Esophagectomy for Esophageal Cancer.

J Gastrointest Surg 27(2): 250-261, 2023.

学会・研究会・講演会

角南栄二、小杉伸一、平野謙一郎、佐藤洋、高橋元子。

当科における BRCA 遺伝子検索の現状。

第 30 回日本乳癌学会学術集会 (e-Poster)

(神奈川, 2022 年 6 月 30 日)

佐藤洋、小杉伸一、三輪矢真人、高橋元子、平野謙一郎、角南栄二。

腸管虚血手術時のインドシアニンググリーン蛍光造影法を用いた腸管切除評価。

第 5 回日本蛍光ガイド下手術研究会 (口演)

(東京, 2022 年 9 月 17 日)

角南栄二、小杉伸一、平野謙一郎、佐藤洋、高橋元子、三輪矢真人。

当科で経験した超高齢胆嚢捻転症の 2 例。

第 58 回日本胆道学会学術集会 (ポスター)

(神奈川, 2022 年 10 月 14 日)

佐藤洋、三輪矢真人、高橋元子、平野謙一郎、角南栄二、小杉伸一。

当院における単孔式腹腔鏡下人工肛門造設術。

第 84 回臨床外科学会総会 (口演)

(福岡, 2022 年 11 月 25 日)

三輪矢真人、佐藤洋、平野謙一郎、角南栄二、小杉伸一、長谷川剛。

腸重積を併発した Meckel 憩室癌の 1 例。

第 287 回新潟外科集談会 (口演)

(新潟, 2022 年 12 月 10 日)

小杉伸一、佐藤洋、三輪矢真人、平野謙一郎、角南栄二、長谷川剛.

前庭部 GIST による無症候性 ball-valve syndrome の 1 例.

第 95 回日本胃癌学会総会 (デジタルポスター)

(札幌, 2023 年 2 月 24 日)

研究費(科学研究費)

佐藤洋 : 代表 若手研究 22K16622 2022~2024 年度

局所陰圧閉鎖療法を用いた手術部位感染予防における治療指標の探索

学会・研究会・講演会

瀬崎遼、橋本毅久、土田正則。

右 S6 区域切除後の気管支瘻に対して術野からの Dumon stent 挿入および自己心膜パッチで一期的に閉鎖し治癒した一例。

第 10 回新潟県呼吸器外科手術手技研究会（口演）

（新潟，2022 年 10 月 22 日）

瀬崎遼、橋本毅久

胸腔鏡下左 S1+2+3c 切除を施行した先天性気管支閉鎖症の 1 例。

第 287 回新潟外科集談会（口演）

（新潟，2022 年 12 月 10 日）

論文(原著)

Furuya Y, Mera H, Itokazu M, Terai S, Nakamura H, Wakitani S, Yasuda H.

Induction of chondrogenesis with a RANKL-binding peptide, WP9QY, in vitro and in vivo in a rabbit model.
Biochem Biophys Res Commun 602: 98-104, 2022.

Shibuya Y, Katsumi K, Ohashi M, Tashi H, Makino T, Yamazaki A, Hirano T, Sawakami K, Kikuchi R, Kawashima H, Watanabe K.

Effect of adjuvant therapy with teriparatide in patients with thoracolumbar osteoporotic vertebral fractures who underwent vertebroplasty with posterior spinal fusion.
Sci Rep 12(1): doi: 10.1038/s41598-022-12655-x., 2022.

五十嵐哲也、目良恒、鄭賢皓、荒引剛、白旗正幸、平野徹、生越章.

整形外科手術後の脳梗塞発症例の検討.
東北整形災害外科学会雑誌 65(1): 15-19, 2022.

Ariizumi T, Kawashima H, Yamagishi T, Oike N, Murayama Y, Umezu H, Endo N, Ogose A.

Diagnostic accuracy of fine needle aspiration cytology and core needle biopsy in bone and soft tissue tumor: A comparative study of the image-guided and blindly performed procedure.
Ann Diagn Pathol 59: 151936, 2022.

Fujita Y, Mera H, Watanabe T, Furutani K, Kondo HO, Wakai T, Kawashima H, Ogose A.

Significantly earlier ambulation and reduced risk of near-falls with continuous infusion nerve blocks: a retrospective pilot study of adductor canal block compared to femoral nerve block in total knee arthroplasty.
BMC Musculoskelet Disord 23(1): 768, 2022.

若杉正嗣、平野徹、生越章.

MRI を用いた腰仙椎椎体前方血管の走行解析 安全な椎弓根スクリュー固定のために.
整形・災害外科 65(9): 1185-1189, 2022.

Watanabe K, Ohashi M, Tashi H, Shibuya Y, Makino T, Hasegawa K, Hirano T.

Axial neck-shoulder Pain After Posterior Correction and Fusion for Adolescent Idiopathic Scoliosis With Structural Thoracic Curve: Does Cranial Fusion Level Affect Neck Symptoms?
Clin Spine Surg doi: 10.1097/BSD.0000000000001370., 2022.

Sato M, Ohashi M, Tashi H, Makino T, Shibuya Y, Hirano T, Watanabe K.

Association of success of brace treatment and various aspects of in-brace correction in patients with adolescent idiopathic scoliosis.

J Orthop Sci doi: 10.1016/j.jos.2022.10.001., 2022.

目良恒、大澤（近藤）はるな、若井崇央、谷藤理、望月友晴、川島寛之、生越章.

人工膝関節全置換術における止血帯およびトラネキサム酸静脈内投与による出血対策の検証.

日本人工関節学会誌 52: 571-572, 2022.

Inose H, Kato T, Ichimura S, Nakamura H, Hoshino M, Takahashi S, Togawa D, Hirano T, Tokuhashi Y, Ohba T, Haro H, Tsuji T, Sato K, Sasao Y, Takahata M, Otani K, Momoshima S, Hirai T, Yoshii T, Takahashi K, Okawa A.

Factors affecting the quality of life in the chronic phase of thoracolumbar osteoporotic vertebral fracture managed conservatively with a brace.

Spine J 23(3): 425-432, 2023.

著書など

生越章.

線維性骨異形成症、多骨型（McCune-Albright 症候群）

骨系統疾患マニュアル改訂第3版, 158-159 頁, 南江堂, 2022.

生越章 ほか

原発性悪性骨腫瘍診療ガイドライン 2022, 南江堂, 2022.

学会・研究会・講演会

荒引剛、平野徹、五十嵐哲也、井瀨慎弥、上村一成、目良恒、白旗正幸、生越章.

腰椎変性疾患手術患者における術前後の破局的思考の変化.

第95回日本整形外科学会学術総会（ポスター・Web）

（神戸, 2022年5月19日-22日）

大橋正幸、渡辺慶、平野徹、長谷川和宏、田仕英希、渋谷洋平、牧野達夫、川島寛之.

思春期特発性側彎症患者における結婚・出産状況の調査.

第95回日本整形外科学会学術総会（口演・Web）

（神戸, 2022年5月19日-22日）

澤上公彦、山本智章、島倉剛俊、渡辺慶、長谷川和宏、大橋正幸、庄司寛和、溝内龍樹、田中裕貴、平野徹、川島寛之.

骨粗鬆症を伴う脊椎に対するテリパラチド術前補助療法 皮質骨からみた投与期間の影響.

第95回日本整形外科学会学術総会（口演・Web）

（神戸, 2022年5月19日-22日）

渡辺慶、大橋正幸、田仕英希、渋谷洋平、牧野達夫、川島寛之、平野徹。

思春期特発性側彎症の進行に骨格筋量は関与するか。

第 95 回日本整形外科学会学術総会（口演・Web）

（神戸，2022 年 5 月 19 日-22 日）

澤上公彦、山本智章、島倉剛俊、渡辺慶、長谷川和宏、大橋正幸、庄司寛和、溝内龍樹、仲村一郎、瀬川博之、

平野徹、川島寛之。

整形外科手術における骨脆弱性が引き起こす問題とその対策 脊椎固定術を成功に導くための骨粗鬆症治療戦略 骨組織動態から考える。

第 95 回日本整形外科学会学術総会（シンポジウム・Web）

（神戸，2022 年 5 月 19 日-22 日）

目良恒。

骨粗鬆症治療の現在置に関する考察 テリボン使用例の提示。

旭化成社内講演会（口演）

（南魚沼，2022 年 6 月 20 日）

目良恒。

膝関節滑膜骨軟骨腫症の 1 例。

第 31 回新潟関節外科研究会（口演）

（長岡，2022 年 7 月 9 日）

生越章、平野徹、目良恒、白旗正幸、上村一成、井瀨慎弥、荒引剛、川崎謙哉、川島寛之。

骨転移症例の経過観察を打ち切らない対応によるがんロコモの実践

第 55 回日本整形外科学会骨軟部腫瘍学術集会（口演）

（東京，2022 年 7 月 14 日-15 日）

目良恒。

関節軟骨細胞と耳介軟骨細胞の軟骨再分化過程における低酸素分圧の反応の違い。

第 41 回日本運動器移植・再生医学研究会（口演）

（横浜，2022 年 10 月 1 日）

富山泰行、目良恒、石橋宰、奥田修二郎、川島寛之。

軟骨分化能に寄与する脂肪幹細胞由来の miRNA の探索 Exploration of the miRNAs that contribute chondrogenic differentiation, derived from adipose tissue-derived mesenchymal stem cells.

第 37 回日本整形外科学会基礎学術集会（口演）

（宮崎，2022 年 10 月 13 日-14 日）

生越章、川島寛之、有泉高志、村山雄大、大池直樹、畠野宏史、山岸哲郎。

胸壁発生軟骨肉腫の自然史の解析。

第 5 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会（ポスター）

（京都，2022 年 2 月 4 日-5 日）補遺

研究費(科学研究費)

生越章：代表 基盤研究費（C）21K09197 2021～2024 年度

良悪性中間群骨軟部腫瘍における免疫環境の解析と新規治療法の開発

平野徹：代表 基盤研究費（C）21K09222 2021～2023 年度

小児腰痛の心理社会的要因および生活の質との関連性に関する研究

目良恒：代表 基盤研究費（C）21K09245 2021～2023 年度

関節内の細胞外小胞体による局所恒常性維持の機序解明

論文(原著)

Yuichiro Yoneoka.

Cottonoids (neurosurgical patties, neurosurgical pads, or micropatties) as effective instruments for safe and successful endoscopic transsphenoidal adenomectomy.

Acta Neurochirurgica 164(12): 3303-3310, 2022.

学会・研究会・講演会

米岡有一郎.

魚沼地域における脳卒中診療連携.

三木会学術講演会 (口演)

(南魚沼市, 2022年5月19日)

米岡有一郎.

Pituitary pseudotumor with slowly progressive alopecia, pancytopenia, and dyslipidemia.

第95回日本内分泌学会学術総会 (ポスター)

(別府国際コンベンションセンター, 2022年6月2日-4日)

米岡有一郎、関泰弘、秋山克彦.

小児脳腫瘍の在宅終末期医療.

第50回日本小児神経外科学会 (ポスター)

(長良川国際会議場, 2022年6月10日-11日)

米岡有一郎、関泰弘、秋山克彦、深井悠未、安部正夫、小原伸雅.

脱毛, 脂質異常症, 貧血を伴う下垂体病変.

第111回新潟内分泌代謝同好会 (口演)

(新潟テルサ, 2022年6月18日)

米岡有一郎、関泰弘、秋山克彦.

中大脳動脈 M1 中枢側の破裂脳動脈瘤の手術例.

第79回新潟脳卒中研究会演題 (口演)

(新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター, 2022年7月16日)

米岡有一郎、関泰弘、秋山克彦.

Tumor-Hypophysis Interface を意識した下垂体腺腫摘出.

第63回日本脳神経外科学会東北支部会 (口演)

(大手門パルズ (山形市), 2022年9月4日)

米岡有一郎.

Tumor-Hypophysis Interface を意識した下垂体腺腫摘出.

第81回日本脳神経外科学会学術総会 (口演)

(パシフィコ横浜, 2022年9月28日-30日)

米岡有一郎.

Tumor-Hypophysis Interface を意識した下垂体腺腫摘出.

第 27 回日本脳腫瘍の外科学会 (口演)

(浅草ビューホテル, 2022 年 10 月 14 日-15 日)

米岡有一郎.

綿片を効果的に用いた腫瘍-下垂体境界を意識した内視鏡的下垂体腺腫摘出術.

第 29 回日本神経内視鏡学会 (口演)

(軽井沢プリンスホテル_ウエスト, 2022 年 11 月 3 日-4 日)

米岡有一郎.

脱毛, 貧血, 脂質異常症を伴う下垂体偽腫瘍.

第 32 回臨床内分泌代謝 Update (ポスター)

(京王プラザホテル新宿, 2022 年 11 月 11 日-12 日)

米岡有一郎, 関泰弘, 秋山克彦.

前交通動脈瘤に対する Clipping 術時の視野の確保について.

第 76 回新潟脳神経外科懇話会 (口演)

(新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター, 2022 年 12 月 10 日)

米岡有一郎.

初診時の低ナトリウム (Na) 血症.

第 112 回新潟内分泌代謝同好会 (口演)

(新潟ユニゾンプラザ, 2022 年 12 月 17 日)

米岡有一郎.

高齢者緩徐増大器質化慢性硬膜下血腫の開頭手術例.

第 46 回日本脳神経外科学会 (ポスター)

(岡山コンベンションセンター, 2023 年 2 月 24 日-25 日)

米岡有一郎.

初診時の低ナトリウム (Na) 血症.

第 33 回日本間脳下垂体腫瘍学会 (口演)

(沖縄県市町村自治会館, 2023 年 3 月 3 日-4 日)

米岡有一郎.

右視野内での左手の動作で惹起される脳梁性他人の手徴候.

第 48 回日本脳卒中学会学術集会 (ポスター)

(パシフィコ横浜, 2023 年 3 月 16 日-18 日)

論文(総説)

藤原浩.

褥瘡.

Visual Dermatol 22(2): 117-119, 2023.

学会・研究会・講演会

加持達弥、入澤亮吉、大塚正樹、加古智子、門野岳史、古賀文二、野北陽子、廣崎邦紀、藤原浩.

ガイドラインに沿った褥瘡診療の要点.

第 121 回日本皮膚科学会総会 (講演)

(京都, 2022 年 6 月 3 日)

岩井由樹、藤原浩、鈴木美奈、長谷川剛.

Lymphangioma circumscriptum of the vulva に光線力学療法 (PDT) を行った 1 例.

第 406 回日本皮膚科学会新潟地方会 (講演)

(新潟, 2022 年 6 月 18 日)

佐藤碩昭、濱菜摘、安齋理、長谷川瑛人、土田裕子、林良太、藤本篤、藤原浩、阿部理一郎、池滝知、高橋美千代、野本真由美.

Unilateral nevoid telangiectasia 5 例の臨床的検討.

第 407 回日本皮膚科学会新潟地方会 (講演)

(新潟, 2022 年 10 月 16 日)

岩井由樹、藤原浩.

落雷による電撃傷の 1 例.

第 407 回日本皮膚科学会新潟地方会 (講演)

(新潟, 2022 年 10 月 16 日)

佐藤亜美、岩井由樹、藤原浩.

耳下腺癌に Mohs paste を局注し、出血コントロールを得られた 1 例.

第 408 回日本皮膚科学会新潟地方会 (講演)

(新潟, 2022 年 12 月 10 日)

藤原浩.

泌尿器科の薬物療法における皮膚障害マネジメント.

Prostate Cancer Seminar in Nagaoka (講演)

(長岡, 2023 年 2 月 10 日)

佐藤亜美、岩井由樹、藤原浩、長谷川剛、浅田一幸.

血管腫様の外観を呈した神経鞘腫の 1 例.

第 409 回日本皮膚科学会新潟地方会 (講演)

(新潟, 2023 年 3 月 5 日)

論文(症例報告)

Ikeda T, Matsumoto K, Hasegawa G, Ikeda Y, Hara N, Nishiyama T.

Laparoscopic Nephroureterectomy with Heminephrectomy for Urothelial Carcinoma of the Upper Renal Pelvis on the Left Side of the Horseshoe Kidney.

Case Rep Urol 4985041, 2022.

Nakamura R, Hasegawa G, Ohashi K, Hashimoto T, Ikeda Y, Hara N, Nishiyama T.

Primary lung cancer treatable with radical resection after complete remission with pembrolizumab therapy following gemcitabine and carboplatin chemotherapy for multiple metastases of bladder cancer.

IJU Case Rep 6(1): 85-88, 2022.

論文(原著)

Matsuyama H, Ueki Y, Okamoto I, Nagao T, Honda K, et al

Head and neck small-cell carcinoma: A multicenter study of 39 cases from 10 institutions.

Front Surg 14: 1-11, 2022.

論文(症例報告)

青山陸、本田耕平、他 6 名

眼窩尖端部病変を伴った蝶形骨洞原発の浸潤型副鼻腔真菌症 4 症例の検討.

日耳鼻 125(6): 1014-1020, 2022.

学会・研究会・講演会

笹川ゆい、本田耕平、志田洋次郎.

眼窩底骨折 4 例の検討 -鼻中隔軟骨を用いた再建-

第 93 回日耳鼻新潟県地方部会総会 (口演)

(新潟, 2022 年 6 月 4 日)

青山陸、孔憲和、関沙織、小木学、小出奈央、高橋優人、森田由香、本田耕平.

バセド病による甲状腺主題で窒息した 1 例.

第 93 回日耳鼻新潟県地方部会総会 (口演)

(新潟, 2022 年 6 月 4 日)

孔憲和、本田耕平.

側頸部に発生した異所性甲状腺乳頭癌の 1 例.

第 84 回耳鼻咽喉科臨床学会 (口演)

(広島, 2022 年 7 月 9 日)

志田洋次郎、笹川ゆい、本田耕平.

副耳下腺扁平上皮癌の一例.

第 94 回日耳鼻新潟県地方部会総会 (口演)

(新潟, 2022 年 12 月 10 日)

本田耕平、志田洋次郎、笹川ゆい.

南魚沼市中学生におけるスギ花粉症疫学調査.

第 94 回日耳鼻新潟県地方部会総会 (口演)

(新潟, 2022 年 12 月 10 日)

論文(症例報告)

加藤奈都美、加嶋克則、安田麻友、甲田有嘉子、吉田邦彦、佐藤ひとみ、鈴木美奈、風間芳樹.

帝王切開癒痕部妊娠に対し MTX 局所投与を行いその後に妊娠し生児を得た一例.

新潟産科婦人科学会 会誌 116(2): 37-40, 2022.

甲田有嘉子、加藤奈都美、安田麻友、吉田邦彦、佐藤ひとみ、加嶋克則、鈴木美奈、風間芳樹.

微小な成熟嚢胞性奇形腫を伴った抗 NMDAR 抗体陰性自己免疫性脳炎の一例.

新潟産科婦人科学会 会誌 116(2): 41-45, 2022.

山田大輔、川浪真里、甲田有嘉子、吉田邦彦、佐藤ひとみ、加嶋克則、鈴木美奈、風間芳樹.

胎児貧血が疑われた抗 Jra 抗体陽性妊娠の一例.

新潟産科婦人科学会 会誌 117(1): 10-13, 2022.

学会・研究会・講演会

倉林工、西島浩二、浅野堅策、芹川武大、安田雅子、加勢宏明、佐藤孝明、加嶋克則、有波良成.

新潟県内の新型コロナウイルス感染妊婦に対する周産期管理の現状と問題点.

第 191 回新潟産科婦人科集談会 (口演)

(新潟市, 2022 年 6 月 18 日)

加嶋克則.

卵巣癌初回治療・再発治療の現在～リムパーザの使用経験～.

中上越 Ovarian Cancer Up Date seminar (口演)

(南魚沼市, 2022 年 6 月 30 日)

南川高廣.

安全な TLH 手術を目指して.

第 8 期 STEPS (Shinshu Training and Education Program for minimally invasive Surgeries) (口演)

(長野市, 2022 年 11 月 19 日)

今井諭、加嶋克則、鈴木美奈、南川高廣、吉田邦彦、甲田有嘉子、清水圭太、佐々木秀.

当院における卵巣癌症例の検討.

令和 4 年新潟大学医学部産科婦人科学教室同窓会総会・集談会 (口演)

(新潟市, 2022 年 12 月 17 日)

佐々木秀、鈴木美奈、今井諭、清水圭太、甲田有嘉子、南川高廣、吉田邦彦、加嶋克則.

月経を契機に DIC となり治療に難渋した腺筋症の 1 例.

第 193 回新潟産科婦人科集談会 (口演)

(新潟市, 2023 年 2 月 19 日)

研究費(科学研究費)

加嶋克則：分担 基盤研究費 (C) 17K09197 2017～2022 年度

妊娠高血圧症候群の発症予防を目的とした解毒酵素遺伝子と嗜好品摂取との相互作用解析

加嶋克則：分担 基盤研究費 (C) 20K10448 2020～2022 年度

子宮内胎児発育不全の発症予防を目的とした遺伝子多型と嗜好品摂取との相互作用解析

研究費(科学研究費)

川口弦：代表 若手研究 18K15626 2018～2022 年度

革新的動体追跡放射線治療に向けたクリップマーカの開発および臨床応用

論文(原著)

Takayuki Kita , Kenta Furutani , Hiroshi Baba.

Epidural administration of 2% Mepivacaine after spinal anesthesia does not prevent intraoperative nausea and vomiting during cesarean section: A prospective, double-blinded, randomized controlled trial.
Medicine 101(26): e29709, 2022.

論文(症例報告)

T Watanabe, K Kamimura, M Shirahata, K Moriya.

Continuous ulnar nerve block at the forearm for early active mobilisation following flexor tendon reconstruction.
Anaesthesia Reports 10(2): e12180, 2022.

学会・研究会・講演会

古俣直樹、渡部達範、喜多学之。

緊急腹腔鏡下異所性妊娠手術において回収式自己血輸血により同種血輸血を回避できた 1 症例。

日本麻酔科学会 2022 年度支部学術集会 (web)

(東京, 2022 年 10 月 22 日)

研究費(科学研究費)

渡部達範 : 代表 基盤研究費 (C) 22K09019 2022~2024 年度

フラビン蛋白蛍光イメージング法を用いた複合性局所疼痛症候群の脊髓機序の解明

渡部達範 : 分担 基盤研究費 (B) 20H03775 2020~2022 年度

なぜ神経障害性疼痛は傷害された末梢神経の支配領域を超えて広がるのか?

論文(原著)

Yasushi Onishi, Shinji Kimura, Koichi Benjamin Ishikawa, Shunya Ikeda,

Clarification of Factors Determining Discharge Destination Among Elderly Patients After Stroke With Low Levels of Independence in Activities of Daily Living: A Retrospective Study.

Arch Rehabil Res Clin Transl 4(4): DOI: 10.1016/j.arrct.2022.100226, 2022.

学会・研究会・講演会

大西康史.

生活期のリハビリテーション.

日本リハビリテーション医学会認定臨床医資格取得講習会 (講師・VOD) (東京, 2022年6月27日-7月11日)

大西康史.

生活の場での障害の見方.

生活期のリハビリテーションにかかわる医師のための研修会 (初級) (講師) (東京, 2023年1月21日)

論文(原著)

Saito T, Nishikawa A, Hara-Saito Y, Salazar ARE, Kurokawa A, Iida A, Yamaga M, Kano H, Kato Y, Takata Y, Nishiyama H, Kitamura N, Tanaka T, Takagi R.

Risk factors of medication-related osteonecrosis of the jaw in preventive tooth extraction before bone resorption inhibitor administration: A multicenter nested case-control study.

Oral Sci Int 19(2): 79-87, 2022.

齋藤直朗、丸山智、加藤祐介、竹内涼子、田沼順一、小林正治.

口底部に生じた異所性胃腸管嚢胞の1例.

日口腔外会誌 69(1): 27-31, 2023.

学会・研究会・講演会

笠原公輝、佐久間英伸、加藤祐介、長谷部大地、大澤知朗、齋藤功、小林正治.

外科的矯正治療を施行した Tricho-rhino-phalangeal syndrome の1例.

第76回日本口腔科学会学術集会 (ポスター)

(福岡, 2022年4月21日-23日)

加納浩之、加藤祐介、松原ちえみ、山本佳奈、青柳友美、井口千絵、角田聡美.

誤嚥性肺炎を予防するための口腔ケア.

楽語り講座 (口演)

(小出, 2022年5月25日)

丸山航輝、田村俊暁、渡辺慶大、今井滉太、加藤祐介、寺島健史.

顎口腔ジストニア話者の感覚トリックによる発話変化の定量的解析.

第23回日本言語聴覚学会 (口演)

(新潟, 2022年6月25日)

研究費(科学研究費)

長谷川剛：分担 基盤研究費（C）20K09860 2020～2022 年度

抗ストレス薬は糖尿病患者の創傷治癒を促進するか？

著書など

目崎恵.

【第6章派遣会社との連携】洗浄・滅菌担当者の派遣会社
INFECTION CONTROL 2022年夏季増刊号, メディカ出版, 2022.

目崎恵.

感染対策成功のための皮膚の清潔健康管理「血管内留置カテーテル挿入部の皮膚管理－皮膚障害と消毒方法－」
感染対策 ICT ジャーナル Vol.17 No.4, 281-285 頁, ヴァンメディカル, 2022.

学会・研究会・講演会

目崎恵.

新型コロナウイルス感染症研修会
老人保健施設清流苑 (講演) (魚沼市, 2022年6月6日)

目崎恵.

一人一人が取り組む現場に活かす感染対策
新潟県看護協会 (講演) (新潟市, 2022年6月28日)

目崎恵.

子どもと職員を守る感染症の予防・対応・管理
新潟県保育士会 パワーアップセミナー (講演) (新潟市, 2022年7月4日)

目崎恵.

感染管理の基本的対策に係る勉強会
新潟県福祉保健部 (講演・Web) (2022年8月10日)

目崎恵.

感染症予防対策研修会
南魚沼地域振局 (講演) (南魚沼市, 2022年11月30日)

目崎恵.

新型コロナウイルス感染症について
苗場プリンスホテル研修会 (講演) (南魚沼郡, 2022年12月8日)

目崎恵.

第 19 回医療安全対策感染管理懇話会学術集会

医療安全対策感染管理懇話会（講演）

（新潟市，2022 年 12 月 17 日）

目崎恵.

有資格者（認定看護師）研修会

新潟県看護協会（講演）

（新潟市，2022 年 12 月 19 日）

目崎恵.

感染症予防対策研修会

魚沼地域振興局（講演）

（魚沼市，2023 年 1 月 11 日）

目崎恵.

感染対策に新たな視点を。病院スタッフが自然と行動できるようになる環境の作り方セミナー

アイテック阪急阪神主催セミナー（講演・Web）

（2023 年 2 月 13 日）

学会・研究会・講演会

金井倫子、佐藤芳伸、大塚佳子、飯野則昭。

腹膜透析患者を専門医のいない医療機関や介護施設への入院・入居を実現した取り組み。

第60回全国自治体病院学会（ポスター）

（沖縄，2022年11月10日-11日）

東都明穂、関義信、坂西清、馬場満、鈴木さくら、勝又尚美、市川佳和、竹田美穂、井口亘、小林ひとみ。

外国人 HIV 陽性者の医療費助成制度利用開始に関する支援の一症例。

第36回日本エイズ学会学術集会・総会（ポスター）

（静岡，2022年11月18日-20日）

学会・研究会・講演会

中島楓、種村瞭、高村誠、山岸宏和、矢吹剛、寺口敦、南場信人、仁谷美希、貝瀬真由美。

院内処方箋に関する問い合わせ簡素化プロトコール導入の効果。

日本病院薬剤師会 第52回関東ブロック学術大会（ポスター）

（横浜市，2022年8月20日・21日）

矢吹剛。

当院における高齢者悪性リンパ腫の化学療法について。

中越・魚沼血液疾患学術講演会 2022（講演）

（長岡市，2022年11月29日）

矢吹剛。

当院における高齢者悪性リンパ腫の化学療法について。

ジーラスタ®ボディーポッド web セミナー（講演）

（長岡市，2022年12月20日）

矢吹剛。

最新の制吐療法について考える in 中越 ディスカッション

最新の制吐療法について考える in 中越（講演）

（長岡市，2023年3月10日）

学会・研究会・講演会

松本一則.

救急整形領域における質の高い MPR 画像と 3D 画像を作成するための技術+α.

第 17 回 Tokyo ER Meeting (講演)

(東京, 2022 年 7 月 9 日)

井開章博、棚邊哲史、上村直史、桑原亮太、栗林俊輝、金子隼汰、阿部一樹、高頭浩正、川口弦.

脳定位放射線治療における GTV 体積と位置誤差が放射線治療計画の線量分布パラメータに及ぼす影響.

第 12 回東北放射線医療技術学術大会 (口頭発表)

(新潟, 2022 年 11 月 19 日-20 日)

上村直史、棚邊哲史、桑原亮太、栗林俊輝、井開章博、金子隼汰、高頭浩正、川口弦.

治療計画 CT 装置のプロセスベースによる CT 値の許容限度および介入限度の評価.

第 12 回東北放射線医療技術学術大会 (口頭発表)

(新潟, 2022 年 11 月 19 日-20 日)

國井正之.

放射線医薬品の投与について ～投与に向けた院内準備～

第 12 回 P-NET 研究討論会 (講演・Web)

(2023 年 3 月 2 日)

松本一則.

STAT 画像報告体制の重要性を今一度考える～命を救うためにできること～

新潟県診療放射線技師会下越地区会 (講演・Web)

(2023 年 3 月 17 日)

臨床検査科

論文(原著)

坂西清、杉山貴大、山倉貴大、柴田真由美、増子弘明、高橋良光、森田邦恵、久保野勝男、長濱大輔、藤井豊.
SARS-CoV-2 株の違いによる SARS-CoV-2 迅速抗原検出キットの検出感度の検証.
生物試料分析 45(5): 224-230, 2022.

学会・研究会・講演会

坂西清、杉山貴大、山倉貴大、柴田真由美、長濱大輔、久保野勝男、藤井豊.
新型コロナウイルス株の違いによる COVID-19 抗原検出キットの検出感度の検証.
第 71 回日本医学検査学会 in 大阪 (一般演題・Web) (大阪, 2022 年 5 月 21 日-22 日)

柴田真由美.
日当直、こんな時どないするねん～あなたの疑問こたえませ！！ (輸血)
第 71 回日本医学検査学会 in 大阪 (シンポジウム) (大阪, 2022 年 5 月 21 日-22 日)

柴田真由美.
こんなときどうする？日当直時の輸血.
令和 4 年度新潟県臨床検査技師会臨床検査総合部門救急検査分野研修会救急検査セミナー2022 (講演・Web)
(新潟, 2022 年 7 月 16 日)

馬場満、山倉貴大、柴田真由美.
イムノジェネシス IgG 試薬による髄液中 IgG 測定の試薬検討報告.
第 54 回大会日本医療検査科学会 (一般演題) (神戸, 2022 年 10 月 9 日)

澁谷大輔、阿部美香、大野仁子、長谷川剛、丸山智.
口腔擦過細胞診におけるクラスⅢの後方視的検討.
第 61 回日本臨床細胞学会秋期大会 (一般演題) (仙台, 2022 年 11 月 5 日-6 日)

今井瑠美、丸山奈穂、加藤義揮、春日萌花、宮下裕美.
心サルコイドーシスの早期変化をとらえた一例.
第 95 回新潟県臨床検査学会 (一般演題) (新潟, 2022 年 12 月 18 日)

松崎菜々子、林美佳子、坂西清、柴田真由美、須田剛士.
便検鏡が診断の一助となったアメーバ腸炎の一例.
第 95 回新潟県臨床検査学会 (一般演題) (新潟, 2022 年 12 月 18 日)

論文(原著)

Takafumi Abe, Yoshihiro Yoshimura, Yoichi Sato, Fumihiko Nagano, Ayaka Matsumoto.

A Combined Assessment Method of Phase Angle and Skeletal Muscle Index to Better Predict Functional Recovery after Acute Stroke.

The journal of nutrition, health & aging 26: 445-451, 2022.

Yoichi Sato, Yoshihiro Yoshimura, Takafumi Abe, Fumihiko Nagano, Ayaka Matsumoto.

Impact of trunk and appendicular skeletal muscle mass on improving swallowing function in acute stroke patients.

J Stroke Cerebrovasc Dis 31(9): 106636, 2022.

Yoichi Sato, Yoshihiro Yoshimura, Takafumi Abe, Fumihiko Nagano, Ayaka Matsumoto, Yoji Kokura, Ryo Momosaki.

Combination of High Energy Intake and Intensive Rehabilitation Is Associated with the Most Favorable Functional Recovery in Acute Stroke Patients with Sarcopenia.

Nutrients 14(22): 4740, 2022.

Yoichi Sato, Noriaki Iino.

Snow Removal Maintains Physical Function in Hemodialysis Patients after One Year: A Pilot Study.

Progress in Rehabilitation Medicine 7: 20220057, 2022.

Yoichi Sato, Yoshihiro Yoshimura, Takafumi Abe, Fumihiko Nagano, Ayaka Matsumoto.

Relationship between trunk muscle mass and activities of daily living at discharge in acute stroke patients.

Nutrition 103-104: 111833, 2022.

Takafumi Abe, Yoshihiro Yoshimura, Yoichi Sato, Fumihiko Nagano, Ayaka Matsumoto.

Validity of sarcopenia diagnosis defined by calf circumference for muscle mass to predict functional outcome in patients with acute stroke.

Archives of Gerontology and Geriatrics 105: 104854, 2023.

学会・研究会・講演会

今井遼太.

資格を取る。心臓リハビリテーション指導士。

新潟心リハネットワーク 第3回ミーティング (口演・Web)

(2022年5月17日)

阿部貴文、佐藤陽一、吉村芳弘、長野文彦、松本彩加。

急性期脳卒中患者の位相角（Phase angle）と急性期退院時の身体機能の関連 -脳卒中重症度毎の検討-

第 36 回日本臨床栄養代謝学会学術集会（口演）

（横浜，2022 年 6 月 1 日）

今井遼太、大口陽子、阿部由紀子、遠藤義幸、山口征吾。

Mechanical insufflation-exsufflation（MI-E）の導入が有効であった急性期頸髄損傷の一症例。

第 7 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会甲信越支部学術集会（口演）

（新潟市，2022 年 6 月 18 日）

今井遼太。

当院における心臓リハビリテーションこれまでとこれから。

中越地区心不全診療を考える会（口演）

（南魚沼市，2022 年 7 月 19 日）

今井遼太。

心不全における包括的心臓リハビリテーション～当院の現状と課題～

魚沼地区糖尿病先進治療研究会 2022（口演）

（魚沼市，2022 年 9 月 13 日）

今井遼太、椿淳裕、阿部貴文、山口征吾。

集中治療入室患者における離床時の脳酸素化反応とバイタルサインの経時的変化の比較～敗血症患者と心不全患者での比較～

第 28 回医用近赤外線分光法研究会・第 26 回酸素ダイナミクス研究会（口演）

（鹿児島市，2022 年 10 月 1 日-2 日）

佐藤陽一、吉村芳弘、阿部貴文、長野文彦、松本彩加。

急性期脳卒中患者のサルコペニア予防に対するエネルギー摂取量と理学療法時間の影響。

第 8 回日本栄養・嚥下理学療法研究会学術大会（口演）

（東京，2022 年 11 月 20 日）

坂大朝光、若井崇央、桑原貴之、大澤はるな、阿部貴文、目黒楓也。

若年脊髄損傷患者に対する「諦めない」介入。

第 2 回新潟県リハビリテーション専門職学術大会（口述）

（新潟市，2022 年 12 月 10 日）

近藤孝覚。

多系統萎縮症患者へのコミュニケーション支援。

第 2 回新潟県リハビリテーション専門職学術大会（口述）

（新潟市，2022 年 12 月 10 日）

阿部貴文、佐藤陽一、吉村芳弘、長野文彦、松本彩加。

急性期脳卒中患者の体組成評価が退院時身体機能へ与える影響 -重症度毎の検討-

第 12 回日本リハビリテーション栄養学会学術集会（口演・Web）

（2023 年 1 月 21 日）

阿部貴文、佐藤陽一、吉村芳弘、長野文彦、松本彩加。

急性期脳卒中患者の下腿周径で判断した入院時のサルコペニアが退院時身体機能へ与える影響。

第12回日本リハビリテーション栄養学会学術集会（口演・Web）

（2023年1月21日）

Yoichi Sato, Yoshihiro Yoshimura, Takafumi Abe, Fumihiko Nagano, Ayaka Matsumoto.

Combined effect of energy intake and rehabilitation time for ADL improvement in acute stroke patients with sarcopenia.

12th Japanese association of rehabilitation nutrition annual meeting(Oral)

(Kumamoto, 2023年1月21日)

今井遼太。

実践講座 心臓リハビリテーション体験。

にいがた健活講座（口演）

（新潟市，2023年1月29日）

今井遼太。

救命救急センター入棟患者における初回離床時の脳酸素化動態とバイタルサインの関連～予備調査報告～

理学療法におけるNIRS使用に関するミーティング（口演・Web）

（2023年2月18日）

今井遼太。

地域における心臓リハビリテーションの課題。

第3回領域別研修会（心管理理学療法）（口演）

（長岡市，2023年2月23日）

今井遼太。

退院後の生活を考えてみよう！在宅を見据えた呼吸リハビリテーション。

第31回新潟呼吸ケアセミナー（口演・Web）

（2023年2月25日）

佐藤陽一、白井直人、阿部義史、岡村大介、倉持陽太、小島将、篠崎信人、白井信行、長島瑞希、三上健太、山田洋二、齊藤正和。

就労世代の外来血液透析患者の身体活動量に対するWalkabilityの影響 一多施設共同研究による検討一

第13回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会（口演）

（大宮，2023年3月19日）

受賞

佐藤陽一：第8回日本栄養・嚥下理学療法研究会学術大会大会長賞

急性期脳卒中患者のサルコペニア予防に対するエネルギー摂取量と理学療法時間の影響。

（日本栄養・嚥下理学療法研究会，2022年11月）

近藤孝覚：フレッシュマン賞

多系統萎縮症患者へのコミュニケーション支援。

（第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会準備委員会，2022年12月）

研究費(科学研究費)

佐藤陽一：代表 若手研究 22K17607 2022～2025 年度

臥位で評価可能な体組成評価は脳卒中の予後を予測できるか？

著書など

本間竜海

第10回新潟県臨床工学会 ワークショップ

新潟県臨床工学技士会誌 No.53, 7-10 頁, 新潟県臨床工学技士会, 2022.

学会・研究会・講演会

本間竜海

術中神経モニタリングとナビゲーション業務について.

第10回新潟県臨床工学会 (口演・Web)

(新潟, 2022年6月5日)

学会・研究会・講演会

井田竜也、仙本和真、山口征吾ほか

面会制限下における COVID-19 患者家族への介入.

第 36 回東北救急医学会

(2022 年 7 月 16 日)

中山卓也、本田康弘、入田貴子、山口征吾.

当院における重症意識障害を伴う熱中症患者への初期治療について.

第 18 回新潟救急医学会 (口述)

(2022 年 7 月 18 日)

小林万由子、南里佳、武田なつみ、瀧沢美由紀、樋口浩美、小嶋絹子.

新型コロナウイルス感染産褥婦に対する看護 ～母子分離中からの母乳育児支援を中心に～

第 32 回新潟周産母子研究会学術講演会

(新潟, 2022 年 7 月 23 日)

関谷めぐみ.

高齢血液がん患者が望む療養生活を支える看護.

がん看護研究第 14 回認定・専門看護師懇話会 (口述)

(2022 年 7 月 30 日)

高橋みはる.

感染管理認定看護師の育成・活動促進.

新潟県看護協会 専門性の高い看護職員育成にむけた病院管理者研修会 (口述)

(2022 年 8 月 22 日)

千野恵子、高橋みはるほか

有資格者が生き活きと輝くために.

第 1 回看護管理者の意識向上研修 (口述)

(2022 年 9 月 27 日)

入学佐美里、高橋みはるほか

有資格者が生き活きと輝くために.

第 2 回看護管理者の意識向上研修 (口述)

(2022 年 10 月 28 日)

青木瞳.

乳がん患者における放射線治療専用自作ウェアの評価.

日本放射線腫瘍学会第 35 回学術大会 (口述)

(2022 年 11 月 11 日)

山崎文雄、小山大介.

総合病院のせん妄予防対策における精神科認定看護師の役割.

第 29 回日本精神科看護専門学術集会 (口述)

(島根, 2022 年 11 月 19 日)

竹内悟、山崎文雄、小山大介。

総合病院精神科病棟における COVID-19 陽性患者受け入れの現状報告。

第 29 回日本精神科看護専門学術集会（口述）

（島根，2022 年 11 月 19 日）

高橋みはる。

感染管理認定看護師の育成・活動促進。

2022 年度新潟県看護協会看護学会（口述）

（2022 年 11 月 30 日）

目黒沙織、酒巻裕一。

療法選択 ～看護師の関わり～、当院における療法選択の現状。

令和 4 年度新潟県腎代替療法研修会 第 1 部（口演・Web）

（新潟，2022 年 12 月 6 日）

高橋みはるほか

有資格者が生き活きと輝くために。

第 3 回看護管理者の意識向上研修（口述）

（2022 年 12 月 16 日）

関谷めぐみ。

肺がん終末期患者の希望を見いだす援助に実際。

第 37 回日本がん看護学会

（2023 年 2 月 25 日）

医療安全管理部

星野靖、丸山暢之、藤原浩.

CT 読影結果の確認不足に対する第三者の介入体制の構築.

薬剤部

中島楓、種村瞭、高村誠、山岸宏和、矢吹剛、寺口敦、南場信人、仁谷美希、貝瀬真由美、須田剛士.

院内処方箋に関する問い合わせ簡素化プロトコール導入の効果.

放射線技術科

井開章博、上村直史、桑原亮太、栗林俊輝、金子隼汰、阿部一樹、高頭浩正、川口弦.

脳定位放射線治療における腫瘍体積と位置誤差が放射線治療計画の線量分布に及ぼす影響.

放射線技術科

桑原亮太、栗林俊輝、上村直史、井開章博、金子隼汰、高頭浩正、川口弦.

乳がん術後放射線治療における患者固定具の違いによる固定精度の比較.

放射線技術科

國井正之、廣田和也、佐藤亜紀子、上村直史、桐生雅也、若井千恵、川口弦.

ウェル型電離箱を用いた放射能管理手法併用による塩化ラジウム分注量の確実性に関する検討.

臨床検査科

坂西清、山倉貴大、池田奈央、杉山貴大、柴田真由美、関 義信.

SARS-CoV-2 株の違いによる COVID-19 迅速抗原検出キットの検出感度の検証.

臨床検査科

山倉貴大、坂西清、馬場満、笹岡秀之、柴田真由美、甲田亮.

NT-proBNP と HANP の比較検討.

リハビリテーション技術科

大口陽子、今井遼太、目崎恵、大橋和政、伊藤竜.

COVID-19 患者のリハビリテーション介入体制の変遷.

リハビリテーション技術科

近藤孝覚、関悟、皆川勝、桑原貴之、寺島健史.

神経難病患者へのコミュニケーション支援に関する取り組み.

リハビリテーション技術科

阿部貴文、佐藤陽一、今井遼太、米岡有一郎.

急性期脳卒中患者のサルコペニアが退院後の再入院へ与える影響 –アンケート調査から–

臨床工学科

鳴海大輔、大平洋介、勝又稔、星野靖、藤原浩.

輸液ポンプ・シリンジポンプに関連するインシデントの分析.

臨床工学科

遠藤義幸、春日大志、小林広武、今井南、鳴海大輔、本間竜海、山田竜、大平洋介、木曾匡、勝又稔、本田耕平.

C P A P用ネーザルマスクが睡眠の質に与える影響の解析.

栄養管理科

本田恵理、田中純太、平賀紀子、関八重子、熊木悠、黒岩会吏子、今成拓、佐藤陽一、恩田佳代子.

朝食食べて疾病予防 ～継続栄養指導の効果～

診療技術科

井口千絵、松原ちえみ、山本佳奈、青柳友美、角田聡美、関ひろみ、加藤祐介、加納浩之.

当院における周術期等口腔機能管理対象者の検討 ～悪性腫瘍患者の口腔状態について～

看護部

山本渚、高田俊範、遠藤義幸、米山良英.

外国人患者支援の整備に向けての外国人患者側と医療スタッフ側のニーズ調査.

看護部

上村美加、清塚貴幸、永井里香、大島佳菜、本田康裕、入田貴子、高田俊範.

救命救急センターにおける睡眠看護の意識向上を目指して ～睡眠促進プロトコルの導入～

院内研修会

<UKB Case Conference>

小林大悟.

高血圧性網膜症 脈絡膜下出血.

(2022年4月28日)

菊地佑.

気分不一致した精神病性の特徴を伴う抑うつエピソード.

(2022年4月28日)

小熊文昭.

腎動脈下腹部大動脈瘤.

(2022年5月27日)

星隆洋.

潰瘍性大腸炎.

(2022年5月27日)

飯野則昭.

急性腎不全.

(2022年6月30日)

米岡有一郎.

甲状腺機能低下症に伴う下垂体肥大.

(2022年6月30日)

大橋和政.

気管支異物.

(2022年7月28日)

佐々木秀.

卵巣癌+腹膜播腫.

(2022年7月28日)

目良恒.

右膝蓋骨軟骨損傷.

(2022年9月20日)

野川真登.

右総腸骨動静脈瘤.

(2022年9月20日)

海津勇希.

発熱と手足の発赤を主訴とした一例.

(2022年10月18日)

三輪矢真人.

小腸腫瘍及び鉄欠乏性貧血.

(2022年10月18日)

- 加藤祐介.
歯性上顎洞炎の1例. (2022年11月30日)
- 笹川ゆい.
深頸部縦隔膿瘍の1例. (2022年11月30日)
- 寺島健史.
単純ヘルペス脳炎の1例. (2022年12月23日)
- 佐藤亜美.
血管腫瘍の外観を呈した神経鞘腫の1例. (2022年12月23日)
- 安倍正夫、小原伸雅.
自己免疫性膵炎により血糖コントロールの悪化を来した2型糖尿病の一例. (2023年1月31日)
- 西山勉.
膀胱癌多発転移の治療完全寛解後、顕在化した原発性肺癌を根治的切除術できた1例. (2023年1月31日)
- 田中純太.
頭痛、食欲低下と発熱で受診した70歳女性（巨細胞性動脈炎）. (2023年2月27日)
- 瀬崎遼.
大腸癌・肝転移治療後、化学療法中に出現した左肺門部腫瘍の1例. (2023年2月27日)
- 上村 駿、関 義信.
心嚢液貯留で判明した原発性滲出性リンパ腫様リンパ腫. (2023年3月30日)
- 川口弦.
高齢女性の肺癌に対し動体追跡放射線治療を行った1例. (2023年3月30日)
- <院内感染対策研修会(感染管理委員会)>
- 目崎恵.
洗浄・消毒・滅菌 (2022年6月29日)
- 加納浩之.
肺炎予防のオーラルマネジメント. (2022年10月6日)

坂西清、勝又尚美.
耐性菌と感染対策. (2022年12月2日)

目崎恵.
廃棄物の処理について (2023年3月7日)

<災害研修会(防災委員会)>

米山良英.
災害発生後の災害対策本部の動き. (2022年10月11日)

佐藤抄織.
災害発生後の患者対応. (2022年10月25日)

米山良英.
院内火災への対応. (2022年12月9日)

<診療放射線の安全医療のための研修(放射線安全委員会)>

上村直史.
医療被ばくの最適化 (2022年12月4日)

<放射線業務従事者教育訓練(放射線安全委員会)>

國井正之.
教育及び訓練～放射線防止に関する法令及び放射線障害予防規程～ (2022年12月4日)

<褥瘡委員会>

廣野純子ほか
皮膚の基礎知識・スキンケア方法・テープの貼り方看護師. (2022年9月8日)

廣野純子、阿部貴文.
摩擦とずれについて 耐圧分散寝具の選択・使用方法. (2022年9月22日)

廣野純子ほか
褥瘡と栄養 創傷治癒過程・基礎疾患との関連. (2022年10月13日)

廣野純子ほか
DESIGN-R について。 (2022年10月27日)

廣野純子ほか
創傷ケア用品の選択 (創傷被覆材・外用薬) 。 (2022年11月10日)

廣野純子ほか
症例検討・まとめ 修了試験 (2022年11月24日)

<化学療法委員会>

小川るり子ほか
臨床経験1年目 化学療法研修 (2022年11月10日, 11月25日)

小川るり子ほか
臨床経験2年目 化学療法研修 (2022年6月1日, 6月14日)

<看護部感染管理委員会(看護部)>

目崎恵、勝又尚美。
擦式アルコール製剤による手指衛生 (2022年7月8日)

目崎恵、勝又尚美。
手指衛生5つの瞬間 (2022年9月9日)

目崎恵、勝又尚美。
環境清拭方法 (2022年12月9日)

目崎恵、勝又尚美。
三方活栓消毒方法 (2022年12月9日)

<看護部医療安全委員会(看護部)>

小川るり子、勝田千枝美、岡村絵里、星静香。
臨床経験2年目 がん化学療法研修 (2022年6月1日, 6月14日)

小川るり子、勝田千枝美、岡村絵里、星静香。
静脈注射研修1回目 静脈注射に必要な解剖生理と神経損傷 (2022年7月12日, 7月28日)

小川るり子、勝田千枝美、岡村絵里、星静香.
静脈注射セカンドプラス研修 (2022年8月16日)

小川るり子、勝田千枝美、岡村絵里、星静香.
静脈注射研修2回目 輸液ポンプ (2022年9月13日, 9月22日, 9月28日)

木村俊一、小倉望、武田なつみ.
転倒転落予防研修 (2022年11月1日)

小川るり子、勝田千枝美、岡村絵里、星静香.
静脈注射研修3回目 安全管理、事故防止対策 (2022年11月15日, 11月28日)

<看護補助者サポート委員会(看護部)>

寺島健史、井口真由美ほか
患者紙媒体の正しい取り扱いがわかる/日常業務の疑問を解消する (2022年5月27日)

本田康裕、目崎恵、小川るり子.
病院組織及び看護チームの一員としての役割を理解し、安全に看護補助者業務を遂行するために必要な知識・技術が習得できる. (2022年10月18日)

<看護記録委員会(看護部)>

藤木舞子、田邊久美子、根津美紀ほか
看護記録の基本と当院の看護記録のシステムを理解する. (2022年4月6日)

野本義和、佐藤知恵、金井美沙、山田優.
看護必要度を正しく理解し評価できる. (2022年6月16日, 6月29日, 7月19日, 7月22日)

<看護の質向上委員会(看護部)>

佐藤美穂、松田望ほか
PNSのマインドを理解し、日々リーダーの役割を遂行できる. (2022年9月21日)

<教育委員会・現任(看護部)>

成田恵、内藤麻里、大竹勇輝、井口勇治.
第1回サポーター研修 (2022年4月15日)

星泰子、原澤美由紀、櫻井綾子、佐藤慶太. 第1回問題解決研修	(2022年5月9日)
豊野一考、水落香織、瀧澤美由紀. 第1回リーダーシップ研修	(2022年5月24日)
星泰子、原澤美由紀、櫻井綾子、佐藤慶太. 第2回問題解決研修	(2022年7月25日)
黒井美穂、内田絵里、武藤陽子. ACP・意思決定支援研修	(2022年8月4日)
成田恵、内藤麻里、大竹勇輝、井口勇治. 第2回サポーター研修	(2022年9月5日)
豊野一考. アンガーマネジメント研修	(2022年10月6日)
黒井美穂、内田絵里、武藤陽子. チーム医療研修	(2022年11月4日)
豊野一考、水落香織、瀧澤美由紀. 第2回リーダーシップ研修	(2022年12月1日)
星泰子、原澤美由紀、櫻井綾子、佐藤慶太. 第3回問題解決研修	(2023年1月19日)
成田恵、内藤麻里、大竹勇輝、井口勇治. 第3回サポーター研修	(2023年2月13日)
<教育委員会・新人(看護部)>	
鈴木さくらほか 酸素吸入・酸素ボンベ	(2022年4月7日)
関八重子、佐藤志津香ほか 薬の知識	(2022年4月7日)

石井美香、仙木和真、飯吉真人、南雲恵、佐藤志津香、熊木悠ほか 血糖測定・インスリン注射	(2022年4月8日)
石井美香、長嶋大輝、若井千明、庭野実希、樋口優輔、佐藤一貴ほか 心電図モニター・12誘導心電図	(2022年4月8日)
仙木和真、飯吉真人、南雲恵、佐藤志津香、熊木悠ほか 経管栄養・EDチューブ挿入	(2022年4月11日)
石井美香、長嶋大輝、若井千明、庭野実希、樋口優輔、佐藤一貴ほか 吸引	(2022年4月11日)
廣野純子、仙木和真、飯吉真人、南雲恵、佐藤志津香、熊木悠ほか おむつ交換	(2022年4月12日)
須田侑梨奈、石井美香、長嶋大輝、若井千明、庭野実希、樋口優輔、佐藤一貴ほか 筋肉注射	(2022年4月12日)
坂大朝光、阿部貴文、近藤孝覚、相楽日奈子ほか 移乗・移送	(2022年4月12日)
坂大朝光、阿部貴文、近藤孝覚、相楽日奈子ほか ポジショニング・廃用症候群予防	(2022年4月12日)
仙木和真、飯吉真人、南雲恵、佐藤志津香、熊木悠ほか 静脈血採血	(2022年4月13日)
関根千春、石井美香、長嶋大輝、若井千明、庭野実希、樋口優輔、佐藤一貴ほか フォローアップ研修①	(2022年4月13日)
山口征吾、仙木和真、飯吉真人、南雲恵、佐藤志津香、熊木悠ほか BLS研修	(2022年5月17日)
若井千明、石井美香、長嶋大輝、庭野実希、樋口優輔、佐藤一貴ほか 静脈注射研修①	(2022年5月18日)
佐藤志津香、仙木和真、飯吉真人、南雲恵、熊木悠ほか 夜勤シミュレーション研修	(2022年5月27日)

- 貝瀬真由美、柴田真由美ほか
輸血の基礎知識・麻薬取り扱い (2022年6月9日)
- 熊木悠、仙木和真、飯吉真人、南雲恵、佐藤志津香ほか
フォローアップ研修② (2022年6月23日)
- 熊木悠、石井美香、長嶋大輝、若井千明、庭野実希、樋口優輔、佐藤一貴ほか
エンゼルケア・死亡診断書取り扱い (2022年6月23日)
- 仙木和真、飯吉真人、南雲恵、佐藤志津香、熊木悠ほか
フィジカルアセスメント (2022年8月29日)
- 若井千明、石井美香、長嶋大輝、庭野実希、樋口優輔、佐藤一貴ほか
静脈注射研修② (2022年9月9日)
- 石井美香、仙木和真、飯吉真人、南雲恵、佐藤志津香、熊木悠ほか
急変シミュレーション研修 (2022年9月29日, 10月3日, 10月7日)
- 今井直美、斉藤めぐみ、斉藤恵美ほか
コミュニケーション研修 (2022年11月14日)
- 仙木和真、飯吉真人、南雲恵、佐藤志津香、熊木悠ほか
メンバーシップ・ケーススタディ研修① (2022年6月7日)
- 石井美香、長嶋大輝、若井千明、庭野実希、樋口優輔、佐藤一貴ほか
メンバーシップ・ケーススタディ研修② (2022年8月17日)
- 仙木和真、飯吉真人、南雲恵、佐藤志津香、熊木悠ほか
メンバーシップ・ケーススタディ研修③ (2023年1月13日)
- <せん妄・認知症ケア委員会(看護部)>**
- 池澤直美、山崎文雄.
認知症ケアを知ろう (2022年10月27日, 11月11日)
- 山崎文雄、片野快宏、栗和田直樹.
新潟県認知症対応力向上ステップアップ事業キックオフ研修会 (2023年1月30日)

山崎文雄.
カンフォータブルケア研修 (2023年2月3日)

<専門・認定看護師会(看護部)>

石田可奈子.
がん患者の心理的な反応と、それらに対するケアを学ぶ. (2022年7月6日)

高松恵.
発達ケアのなかの光環境について学ぶ. (2022年8月3日)

山崎文雄.
認知症について学び理解する. (2022年9月7日)

青木瞳.
放射線治療の基本と、治療前・中・終了後の看護について学ぶ. (2022年10月5日)

関理恵子.
手術室看護師の役割と看護実践についてイメージできる. (2022年11月2日)

入田貴子.
急変回避のためのバイタルサインやフィジカルアセスメントを理解する. (2022年12月7日)

目崎恵、勝又尚美.
標準予防策 10 項目について理解する. (2023年1月18日)

<看護師長会・看護係長研修(看護部)>

若井優子、樋口浩美、大津民恵、樋口千恵子.
看護係長に求められるマネジメント能力を理解するとともに、自らの課題を達成する. (2022年8月26日)

<看護師長会・看護倫理研修(看護部)>

星野佐知子、平賀紀子.
日常業務における倫理上の問題点に気づくことができる. (2022年10月14日)

<看護師長会・主任研修(看護部)>

駒形玲子、今井直美、桑原ゆかり、泉沢雅子.

コーチングを学びスキルを活用することで部署の活性化につなげる.

(2022年10月25日)

<看護師長会・既卒採用者研修(看護部)>

関真由美、渡辺真由美.

既卒採用者のリフレッシュと自己の目標設定の参考にできる.

(2022年6月8日)

関真由美、渡辺真由美.

既卒採用者のリフレッシュと自己の目標設定の参考にできる.

(2022年10月18日)

<緩和ケア勉強会>

椿智子.

緩和ケアにおけるリハビリテーションの役割と実際.

(2023年1月24日)

<第1回魚沼ハートチームフォーラム>

木村新平、若杉嵩幸、田中和世、小熊文昭.

症例検討会

(2022年7月12日)

<第2回魚沼ハートチームフォーラム>

木村新平、若杉嵩幸、田中和世、小熊文昭.

症例検討会

(2022年10月25日)

<第3回魚沼ハートチームフォーラム>

木村新平、小熊文昭.

症例検討会

(2022年12月13日)

<第4回魚沼ハートチームフォーラム>

木村新平、若杉嵩幸、田中和世、小熊文昭.

症例検討会

(2023年3月7日)

<西7病棟循環器研修会>

鳴海大輔.

除細動器研修会

(2022年6月21日)

遠藤義幸.

植え込みデバイスの基礎

(2022年9月29日)

<麻酔器研修会>

春日大志.

麻酔器の基本的構造

(2023年1月24日)

<麻酔器・人工呼吸器研修会>

本間竜海.

呼吸器関連を中心として

(2023年2月16日)

<西7勉強会>

今井遼太.

心臓リハビリテーション

(2022年7月15日)

<西6勉強会>

大津友樹.

運動麻痺の見方

(2022年9月14日)

大津友樹.

看護師が行うROM訓練

(2022年12月9日)

<看護補助業務従事者研修 職種別研修(介護福祉士)>

坂大朝光、相樂日奈子、近藤孝覚.

ポジショニングの基礎知識 脳外科疾患・整形疾患の特性

(2022年10月18日～20日)

<がん患者サロン>

中島蘭.

がん患者の運動について

(2022年11月20日)

<がん診療に関する勉強会>

大澤はるな.

がん患者におけるリハビリの役割

(2022年12月13日)

井佐龍太郎.

がん患者におけるリハビリの役割

(2023年3月14日)

<虐待対応研修会>

鈴木博.

虐待対応研修会

(2023年1月23日)

<血液内科勉強会>

関 義信.

FNについて

(2022年7月15日)

関 義信.

血液疾患に伴う合併症について

(2022年7月28日)

関 義信.

血液疾患の看護

(2022年8月19日)

関 義信.

造血幹細胞移植について

(2022年9月29日)

<NCPR A コース>

小嶋絹子ほか

新生児蘇生法講習会

(2022年9月10日)

<NCPR S コース>

小嶋絹子ほか

新生児蘇生法講習会

(2022年12月4日)

<放射線技術科安全教育(看護部)>

國井正之

放射線学習会 放射線の基礎と医療放射線を学ぶ

(2022年12月4日)

佐藤豊

MRI 検査の安全講習

(2022年12月4日)

Annals of Uonuma Kikan Byoin

VOL.7

発行者 病院長 鈴木 榮一
教育センター長 高田 俊範

発行 2023年8月31日

発行所 一般財団法人新潟県地域医療推進機構
魚沼基幹病院
〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐4132
TEL 025-777-3200
FAX 025-777-2811
<https://www.uonuma-kan-hospital.jp/>

編集担当 総務課総務係 米山 良英
※電子データが必要な場合は、編集担当までご連絡ください。



新潟大学地域医療教育センター
魚沼基幹病院